平成２１年度ＳＣＡＴ研究費助成応募要領

（最終更新：2009.8.1）

●1．研究費助成の趣旨

わが国は、社会･経済構造の改革、高齢化社会や環境問題への対応などの課題に直面していますが、これらの諸課題を解決する有効な手段として高度情報通信社会の構築が重要であり、先端的な情報通信技術の研究開発の重要性が益々増大しています。当財団では、このような認識のもとに、先端的な情報通信技術分野の研究への支援を目的として、研究費の助成を行います。

●2．研究費助成の対象とする研究分野

先端的な情報通信技術分野の、独創的な研究を対象とします。ただし、製品化に関する研究は対象にしません。

●3．応募資格

研究者または研究グループとします。

●4．助成額および採用予定数

１件当たり総額 ２５０万円から６００万円とし（総額とは助成期間内の支給総額）、１０数件程度の採用を予定しています。

●5．助成期間

助成期間は3年以内（3年または2年）とし、年度毎に助成金の支給を行います。ただし、助成期間および年度毎の支給額は研究助成内容に応じて決定します。

●6．助成金の性格と使途

（1） 当財団が実施する助成は、委託研究などとは性格を異にしており、金額的にも研究の主体部分に対して助成できる規模のものではありません。すなわち、当該研究活動の円滑な推進を支援することを目的としています。

（2） 助成金は、当該研究テーマの研究に関係する範囲内であれば、使途に特別の制限はありません。

●7．助成金支給時期および支給方法

平成２１年度分の助成金の支給時期は平成２２年６月を予定しています。次年度以降はその年度の同時期を予定しています。助成金は、原則として助成対象者の指定する銀行口座に振込みます。

●8．助成対象者の義務

（1） 毎年１２月に以下の書類を提出していただきます。

①研究進捗状況報告
②次年度の研究計画
③当年度の支出見込み
④次年度の予算計画
なお、上記①の内容は、当財団の年次報告書に掲載させていただきます。

（2） 助成期間終了時に助成金全額の支出状況を提出していただきます。

（3） 助成期間終了後、研究成果を当財団の技術情報誌に投稿していただきます。

（4） 研究成果を公表する場合は、原則として（財）テレコム先端技術研究支援センター（ＳＣＡＴ）の助成を受けている旨を明示していただきます。

（5） 助成を受けた研究成果に関し、特許、実用新案または意匠登録を出願されることは差し支えありません。

(6) 助成金は当該研究テーマに関する研究目的にのみ使用していただきます(共通管理費および当該研究テーマとの関連が不明確な費用には使用できません)。

●9. 応募方法

(1) ＳＣＡＴ研究費助成申込書
ＳＣＡＴ研究費助成申込書は、当財団のホームページからダウンロードして下さい。ダウンロードできない方は、下記の当財団窓口まで、E-mail、FAXまたはハガキによりご請求ください。

〒160-0022 東京都新宿区新宿１－20－２　小池ビル
財団法人テレコム先端技術研究支援センター　事業部
TEL (03)3351-8148　FAX (03)3351-1591
E-mail　josei@scat.or.jp
http://www.scat.or.jp/

(2) 応募に当たっては、以下の書類を書留(簡易書留または配達記録等)で当財団あて郵送してください(直接財団へ持参されても受け付けません)。

①ＳＣＡＴ研究費助成申込書　3部(本書1部と写し2部)
なお、研究計画調書の記入要領8.に記載のとおり、研究実績の主要論文(5件以内)も3部提出願います。

(3) 応募期間
平成２１年9月1日(火)～平成２１年１０月３１日(土)(当日消印有効)

(4) ＳＣＡＴ研究費助成申込書の送付先
前記9.(1)項のＳＣＡＴ研究費助成申込書の請求窓口と同じです。

●10. 審査

審査は提出されたＳＣＡＴ研究費助成申込書により行い、助成対象者および助成額は当財団が設置した研究助成審査委員会で決定します。

●11. 審査結果の通知

助成対象者への採否の結果は、平成２２年3月に文書で応募者にお知らせします。

●12. その他

(1) 提出された書類は返却いたしません。

(2) 応募内容についての秘密は厳守します。

(3) 応募書類は個人情報保護に留意し、研究費助成事業を遂行する範囲でのみ使用します。

(4) 審査の経過および内容に関するお問い合わせには応じられません。

(5) 応募は1人1件の応募を原則とさせていただきます。同じ研究者名を、2件以上の申込書に(研究代表者、分担者を問わず)記載することはできません。

(6) 助成金の支給は単年度毎に行い、進捗状況、支出見込みなどによって、次年度以降の助成について見直しを行うことがあります。

(7) 助成金を目的外に使用したり、研究を中止された場合は、助成金を返還していただくことがあります。

(8) 助成対象者名を当財団のホームページに掲載させて頂きます。掲載項目は代表者名･所属、研究テーマ、助成総額および助成期間です。

(9) その他、お問い合わせ先は前記9.(1)項のＳＣＡＴ研究費助成申込書の請求窓口にお願いします。

ＳＣＡＴ研究費助成申込書
および研究計画調書記入要項

（最終更新：2009.8.1）

（1）ＳＣＡＴ研究費助成申込書

1．「研究代表者」：
研究代表者の氏名を記入し、その上段にフリガナを付し、必ず押印してください。

「所属・職名」：
たとえば、○○大学○○学部○○学科教授、○○会社○○研究所研究員と記入してください。また、記入内容は、略称ではなく、正式名称でお願いします。

「専門分野」：
たとえば、電子工学、情報工学と記入してください。

「最終学校名・卒業修了年」：
たとえば、○○大学平成○○年卒、○○大学大学院博士課程平成○○年修了（または単位取得退学）と記入し、専攻の学部、学科も記入してください。

「学位」：
たとえば、○○大学○○士、○○大学○○博士と記入してください。

「連絡先」：
研究代表者の所属する機関の郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入してください。当財団からの、応募内容の照会や応募結果の通知は研究代表者にご連絡します。

2．「研究テーマ」：
一般的、抽象的な表現を避け、研究内容を具体的に、簡潔にまとめて記入してください（４０字以内）。
なお、化学式、数式の使用はなるべく避けてください。

3．「技術分野」：
以下の技術分野から１つを選択し、その区分を記入してください。

区分	技術分野
1	光通信・ネットワーク技術とその応用 （光通信方式、デジタル信号処理、音声・画像処理、トラヒック・ルーティング制御、フォトニックネットワークなど）
2	情報処理技術 （ハードウェア、ソフトウェア、データベース、人工知能、自然言語処理など）
3	無線・宇宙通信技術 （無線通信方式、無線アクセス、アンテナ・電波伝搬、放送技術など）
4	マイクロエレクトロニクス・材料技術 （デバイス、分子素子、ナノテクノロジーなど）

（括弧内は例示です）

4．「助成希望」：
助成を希望する年数と総額（助成期間中の支給総額、万円）と支給を受けたい年度毎の支給額（万円）を記入して下さい。

5．「研究組織・研究分担」：
「役割分担」欄には、初年度の研究計画に対する分担事項を中心に、研究代表者を初め、研究分担者がどのように協力して研究を行うか、研究の全容とそれぞれの関係がわかるように記入してください。
なお、研究分担者は、研究計画に常時加わる者を記入してください。

（2）研究計画調書

1．「研究テーマ」：
前頁〔1〕－2．と同じものを記入してください。

2．「研究目的」：
助成を希望する年限を含む将来に亘って行おうとする研究において、何をねらい、何をどこまで実現しようとするのかなど、研究者の考えを具体的に記入してください。また、研究内容とこの助成の趣旨との関連についても記入してください。

3．「研究の特徴」：
この研究の独創性、新規性などについて記入してください。

4．「研究の意義」：
この研究の波及効果、発展性、将来性などについて記入してください。

5．「これまでの研究経緯、成果、および、準備状況」：
この研究計画に関連して、これまでの研究経緯・成果と、この研究計画を進める上での準備状況について記入してください。

6．「他機関からの助成状況、および、共同研究状況」：
他機関から助成金を受ける（予定を含む）場合、あるいは、他研究機関との共同研究の対象である場合には、他機関名、助成金額について記入してください。

7．「研究に関する国内および国外の研究状況」：
この研究計画に関連する国内外の当該研究の位置付けや研究状況などについて記入してください。

8．「研究業績」：
最近5年間に学術誌等に発表した研究代表者および研究分担者の論文、著作のうち重要なものを記入してください。なお、これらのうち、主要な論文については、5件以内で、各3部（A4サイズに統一したもの）を添付してください。

9．「研究費助成金計画」：
「助成希望額」欄には、助成を希望する総額（助成期間中の支給総額、万円）と支給を受けたい年度毎の支給額（万円）を記入して 下さい。研究計画と支出予定欄には、単なる研究スケジュールではなく、研究目的を達成するためにどのような研究方法で行うのか実行計画を年度別に具体的に記入してください。主な支出予定については使途、数量、金額を記入してください。なお、助成金の使途は採用選考の指標とはしませんが、助成金額の決定のための資料としますので出来るだけ具体的に記入してください。

ＳＣＡＴ研究費助成申込書様式

※ブラウザは Internet Explorer をお使い下さい。
Word形式はMicrosoft Word XP、PDF形式はAdobe Acrobat 7.0にて作成しています。

Word形式	kenkyuhi.doc (約58KB)
PDF形式	kenkyuhi.pdf (約132KB)

研究助成の
ホームページへ戻る